



			<p>案内掲示版を庁舎内に設置してはどうか</p> <p>②高齢の方における飼育放棄や多頭飼育崩壊が起こりやすい現状があることから福祉機関との連携の仕組みを構築してはどうか</p> <p>③飼い主のいない猫等の相談に対応できる専任の職員の配置を検討してはどうか</p> <p>6) 地域環境を守るための保護猫活動等への支援充実と、そのための環境整備の必要性について町の考えは</p>	町長
	2 多文化共生社会の構築に向けた取り組みについて	<p>1) 外国籍の方へのゴミ排出方法の周知について</p> <p>①ルールはどの様に周知されているか</p> <p>②ごみ分別アプリについて</p> <p>ア 多言語対応での情報提供は</p> <p>イ アプリ内での情報提供を可能にすることと合わせ理解しやすい表記に更新しては</p> <p>③効果的な周知について関係各課の連携が必要では</p> <p>2) 外国籍の方々と日常からの意思疎通や交流の機会をつくるのが大切と考えるが町の取り組みは</p>	環境課	社会教育課
	3 犬と散歩できる公園利用について	<p>1) 三芳町都市公園条例には「町内に居住する者の休息・散歩・遊戯・運動等総合的な利用に供すること」が目的として示されているが、町内の公園で犬が同行では利用出来ないルールとなった理由と時期は</p> <p>2) 犬を飼う上でのしつけやマナーなどの周知について</p> <p>①ルールやマナーの周知はどのように行われているか</p> <p>②狂犬病予防接種や登録の際に更なる周知をしては</p> <p>3) ペットの家族化が進んでいる現状を鑑み、公園利用のルールも社会環境の変化に適応する必要があるのでは</p>	都市計画課	環境課
				都市計画課

			4) 近隣市のように犬の散歩でも公園を利用できるよう、ルール改正を視野に入れ住民ニーズへの対応を検討しては	町長
2	内藤美佐子	1 防災対策について	<p>1) 災害発生時における避難所等の通信確保について</p> <p>①災害時のバックアップ回線の確保はどうか</p> <p>②衛星を活用したインターネットサービスのアンテナを庁舎や指定避難所に整備してはどうか</p> <p>③通信技術に関する訓練を終了した者や、無線技術に知見のある者を中心に（仮称）通信復旧支援チームの体制整備はどうか</p> <p>④国内に外国人旅行者が増える中、インターネットによる情報収集がメインであることから通信確保の優先度を上げた対応が必要であるが、取組みがあるか</p> <p>2) 新総合防災情報システム（SOBO-WEB）について</p> <p>①システムの利用により、災害対応へどのような効果があるのか</p> <p>②システムを効果的に利用するために、対応する職員体制はどのようになるのか</p> <p>③システムの利用では、各地域の細かな情報が書き込まれるが、個人情報等の扱いについてはどのように整理されているのか</p> <p>3) 令和6年12月に改訂された避難所の運営指針で明記された「スフィア基準」等について</p> <p>①本町の現在の避難所トイレ数の基準は</p> <p>②スフィア基準に基づく「トイレを20人に1基」とするとあるが、本町の取組みは</p> <p>③入浴施設の基準「50人に1つ」の取組みについての見解は</p> <p>④避難所内の一人当たりのスペース確保は</p> <p>⑤キッチンカー、トイレカー、ランドリーカー等を迅速に提供するための事前登録制度は検討しているか</p>	町長 自治安心課

		<p>2 廃棄物処理について</p> <p>3 ヘアドネーション活動への支援について</p>	<p>⑥災害ボランティアとして活動する支援団体の事前登録制度はどうか</p> <p>⑦受援計画は策定しているか</p> <p>1) リチウム蓄電池一体型製品に起因する火災の管内発生件数は</p> <p>2) リチウム蓄電池一体型製品の廃棄に関する現状と課題をどのように捉えているか</p> <p>3) 改正資源有効利用促進法の施行により、令和8年度よりメーカーや店舗に回収が義務付けられるが、自治体にも分別回収の必要性はある。今後の分別回収実施方法は検討しているか</p> <p>4) 町民の意識向上につながる啓発が喫緊の課題では</p> <p>5) 役場内に設置の小型家電回収ボックスについて</p> <p>①設置目的及び回収実績は</p> <p>②回収ボックスでのリチウム製品の回収は可能か</p> <p>1) ヘアドネーション活動への見解はどうか</p> <p>2) ヘアドネーションカット及び仕上げカット代金への補助制度創設は（京都府八幡市参考）</p> <p>3) 町内店舗への協力依頼で、活動支援ができないか</p>	<p>自治安心課</p> <p>環境課</p> <p>健康増進課 町長</p>
3	菊地 浩二	1 予防接種と三芳町の役割	<p>1) 令和7年7月24日（木）厚生労働省専門部会ではHPV9価ワクチンの接種対象を男性にも拡大することを了承し、近く正式承認される見通しとなった。令和7年度施政方針では「HPV9価ワクチンが男性にも承認され次第、速やかに体制を整え助成を行う」とあったが、三芳町の今後の対応は</p> <p>2) 三芳町では9価ワクチンの男性接種のカバー率をどのように認識し、住民に対しどのように周知していくか</p> <p>3) 三芳町が予防接種事業を行う際に最優先している事項は何か</p> <p>4) 個人の予防接種記録の保持の必要性をど</p>	健康増進課

		<p>2 三芳町ふれあいセンターの今後</p>	<p>のように考えるか</p> <p>5) WHOが提唱する「生涯を通じた予防接種の提供環境の構築」に関して町の果たすべき役割は</p> <p>1) これまで三芳町ふれあいセンターでは主に高齢者の憩いの場・たまり場としてどのような役割を果たしてきたか</p> <p>2) 三芳町ふれあいセンターは月曜日～土曜日に開館し、個人でも団体でも利用ができる。独立した施設で各事業を行えることの意義をどのように考えているか</p> <p>3) 現在の場所に移転した経緯をあらためてうかがう</p> <p>4) 現在の北永井のふれあいセンターは藤久保地域拠点ができるまでの仮の場所であったならば、建設中の藤久保地域拠点になぜふれあいセンター専用のスペースが確保されていないのか</p> <p>5) ある団体に対し藤久保地域拠点施設の供用開始に伴い現在のふれあいセンターは閉鎖となるとの説明があったようだが、令和2年8月18日の全員協議会での説明資料では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現ふれあいセンターを維持</li> <li>・一部機能のみ拠点に導入</li> <li>・多目的室として、団体活動に供する室とする</li> <li>・関係団体で協議体を作るなどして自主管理の仕組みができれば理想的</li> <li>・活動用ロッカーを設置</li> </ul> <p>とある。</p> <p>①どのような経緯で全員協議会で説明された方針が決定されたか</p> <p>②全員協議会で説明のあった令和2年8月の時点では北永井のふれあいセンターは存続し、一部機能のみ拠点に導入との方針は全庁的に共有されていたか</p> <p>③これら方針が変わった経緯は</p> <p>④三芳町は方針変更前後に各団体へどのような説明や対応をしたか</p> <p>6) 結論として、三芳町ふれあいセンターは</p>	<p>福祉課</p> <p>施設マネジメント課</p> <p>政策推進室</p> <p>福祉課</p>
--	--	-------------------------	--	---

		3 「公共」交通を考える	<p>今後どこに設置され、どのような運営を行うか</p> <p>1) あらためて、循環ワゴンの実証運行事業は本年10月にはじまるか</p> <p>2) 循環ワゴン導入の効果に関し6月定例会の一般質問で「現在の鉄道やバスが利用可能な方は全人口に対し66%、導入後は81%」と答弁があった。</p> <p>①鉄道やバスの利用可能な方の算出条件は</p> <p>②タクシーであれば即ほぼ100%だが、鉄道は入っているのに、タクシーを計算に入れない理由は</p> <p>③三芳町は公共交通機関の中でタクシーをどのように位置づけて考えているか</p> <p>3) 同様に「車いすでも対応しますので高齢者、身体の不自由な方の買い物や病院等への移動にも活用が期待されるなど、既存バス路線の補完的な役割とあわせ町内の利便性は向上するもの」と答弁があった。</p> <p>①車椅子は1台しか対応しないが、仮に同時に複数台の車椅子の利用がある場合は別のタクシー車両が対応するか</p> <p>②身体の不自由な方の利用の場合、運転手は利用者に対して介助等行うことはできるか</p> <p>4) 「ひとまち緑繋ぐ幸せウェルビーイングの基盤公共交通ネットワークの構築を目指す」との答弁だが、具体像がみえにくい。わかりやすく説明を</p>	政策推進室
4	牛丸 藍子	1 在住外国人との共生について	<p>1) 窓口での多言語対応について</p> <p>①外国語対応が可能な職員が所属している課と人数は</p> <p>②外国語対応が可能な職員が所属していない課で外国語コミュニケーションが必要になった場合の対応は</p> <p>③全ての課で何らかのコミュニケーションツールは設置されているか</p> <p>④当町に転入する外国人は増加傾向にあるが、窓口対応での課題は</p>	町長 総務課

			<p>⑤外国語対応が可能な職員の配置について町の考えは</p> <p>⑥在住外国人の相談対応に特化した窓口の設置について町の考えは</p> <p>2) 文字・視覚情報の多言語対応について</p> <p>①各種手続き・申請の外国語対応は</p> <p>②転入時に窓口で配布する書類の外国語対応は</p> <p>③情報の理解促進の支援について町の考えは</p> <p>3) わかりやすいゴミ分別の案内について</p> <p>①ゴミ収集カレンダーの多言語対応が2017年以降更新されていない理由は</p> <p>②適切なゴミ分別やルール遵守に繋がる外国語対応は多くの住民に有益と考えるか町の認識は</p> <p>③ゴミ分別アプリの多言語対応は検討しているか</p> <p>4) 理解に繋がるホームページの改善について</p> <p>①現在5か国語に対応しているが各言語のアクセス数は</p> <p>②他の言語でのリクエストはあるか</p> <p>③やさしい日本語の導入の検討は</p> <p>④在住外国人にもわかりやすい生活情報をまとめたページを作る事で、必要な情報に繋がりがやすくなると思うがいかがか</p> <p>5) 共生のための取り組みについて</p> <p>①これまで海外派遣事業に参加した生徒の総数は</p> <p>②これまで海外派遣事業に参加した生徒が活躍できる他の事業は実施されたか</p> <p>③在住外国人との交流サポーター等町内でも活躍できる人材育成を視野に入れた事業の必要性について町の考えは</p>	<p>住民課</p> <p>総務課</p> <p>環境課</p> <p>町長</p> <p>秘書広報室</p> <p>教育長</p> <p>秘書広報室・学校教育課</p> <p>学校教育課</p> <p>町長</p> <p>学校教育課・社会教育課</p>
5	細田 三恵	1 平和教育について	<p>1) 小中学校の、平和学習の取り組みについて</p> <p>①年間を通じて、学習時間や関連行事の開催はどの程度か</p> <p>②学年ごとの実施内容にどのような違いがあるか</p> <p>③地域住民や保護者が関われる機会はあるか</p>	<p>教育長</p> <p>学校教育課</p>

			<p>るのか</p> <p>2) 今回の広島平和記念式典へ三芳町の中学生が参加したが、生徒の学びや意識の変化など、どのような成果や課題があったか</p> <p>3) 子ども版防衛白書について</p> <p>①当町の小中学校に配布はあったのか</p> <p>②冊子の内容について、教育委員会はどのように評価しているか</p> <p>③配布された場合、その保管・活用の方法はどのようなものであったか</p> <p>4) 平和教育と防衛教育のバランスについて</p> <p>①現実の安全保障環境を踏まえ、児童に「なぜ平和を守る努力が必要なのか」「何が脅威となり得るのか」を理解させることについて、教育委員会の考えはどうか</p> <p>②現在の社会科等において、日本の防衛力や自衛隊の役割、周辺国の軍事的現実について、子どもたちが具体的に理解できるようになっていると考えるか</p> <p>③児童生徒が、現実の脅威を正しく理解しないまま成長することが、むしろ将来の平和を危うくするという指摘もある。教育委員会はこのリスクについてどのように考え、どのような対応を検討しているか</p> <p>5) 教育内容の判断基準や指針について</p> <p>①教材や配布資料に特定国への言及や軍事的記述がある場合、それを「不適切」と判断する明確な基準やガイドラインが存在するのか</p> <p>②文部科学省に対して、防衛省との連携も含め、児童生徒が現実の安全保障環境や防衛力の役割を正しく理解できるように具体的なガイドラインや基準の整備を要望する考えはあるか</p> <p>6) 今後の対応について</p> <p>①安全保障に関する教育の意義や必要性について、教育委員会として研修や議論を深める考えはあるか</p> <p>②次年度以降、同様の資料が配布された場</p>	<p>総務課</p> <p>学校教育課</p>
--	--	--	--	-------------------------

		2 みよしなかよしカードについて	<p>合、どのように対応する方針か</p> <p>1) 「みよしなかよしカード」の事業の経緯と目的は</p> <p>2) 行政区の抱える社会的な課題に対してどのような効果があるか</p> <p>3) 現状と利用実態の把握について</p> <p>①配布件数の推移は</p> <p>②協賛店数とその推移は</p> <p>③加入者の利用状況の現状把握は</p> <p>④協賛店の満足度や課題の把握は</p> <p>4) これまで事業を行った中で課題と改善策をどのように考えるか</p> <p>5) 今後の展望と持続可能性について</p> <p>①長期的な目標と地域交流や防災などとの連携 ss は</p> <p>②効果測定について具体的な設定はされているか</p>	<p>自治安心課</p> <p>町長</p>
6	長野真寿美	1 児童相談所の現状と今後の三芳町における児童福祉の充実について	<p>1) 児童相談所との連携について</p> <p>①現在、三芳町から児童相談所への情報提供や連携はどのように行われているか。具体的な事例は</p> <p>②児童相談所からの支援要請や情報共有に対しどのように対応しているか</p> <p>③緊急時における連携体制は</p> <p>2) 町内における児童福祉体制の現状と課題について</p> <p>①三芳町では、児童相談所が担う専門的な支援と連携し、町独自でどのような児童福祉サービスを提供しているか</p> <p>ア 子育て支援センター</p> <p>イ 児童館</p> <p>ウ 児童発達支援センターみどり学園</p> <p>エ こども支援課</p> <p>②町内の児童福祉サービスにおける課題や、児童相談所との連携において特に強化が必要だと考える点は</p> <p>3) 今後の児童相談体制のあり方と三芳町の役割について</p> <p>①児童相談の専門的な機能強化が全国的に求められる中、三芳町として今後どのように対策していくのか</p>	こども支援課

		<p>2 子どもに対する性暴力防止と日本版 DBS について</p>	<p>②地域全体で子どもを見守り、支援する体制を構築するため、三芳町はどのような役割を担っていくべきか</p> <p>4) 児童福祉における児童相談所と三芳町の連携や相談体制の充実を、今後どのように考えているか</p> <p>1) 子どもに対する性暴力防止について</p> <p>①子どもへの性暴力や性虐待の実態や、学校・地域・家庭での予防策について町はどのように把握しているか</p> <p>②保育園・幼稚園・学校・学童保育・習い事など、子どもと接する大人に対する研修や啓発はどのように行われているか</p> <p>③学校・地域・警察・児童相談所等の関係機関と連携して再発防止や早期発見に取り組む体制は整っているか</p> <p>2) 日本版DBSについて</p> <p>①政府が導入を進めている「日本版DBS」(子どもと接する業務に就く人の性犯罪歴を確認する制度)について、町としての認識は</p> <p>②制度が導入された場合、町立学校や公的な子育て施設・事業への影響はどうか</p> <p>③民間の教育・保育・習い事事業者にも制度を適用すべきと考えるか</p> <p>④導入にあたり個人情報の扱いや雇用の機会均等とのバランスについて、町としてどう考えるか</p> <p>⑤制度導入後、町として独自にチェックや研修を強化する考えはあるか</p>	<p>町長</p> <p>こども支援課 ・学校教育課</p> <p>こども支援課</p> <p>こども支援課 ・学校教育課</p> <p>町長 こども支援課</p>
		<p>3 防災対策について</p>	<p>1) 外国人住民への多言語防災情報の提供について</p> <p>①外国人住民数の推移(過去3年間)</p> <p>②防災情報を発信している言語数と手段(防災行政無線・広報・SNS・メール配信)</p> <p>③行政連絡区や自治会、自主防災組織と連携した取り組みはあるか</p> <p>2) 多言語での防災情報提供の強化に向けた、今後の具体的な計画について</p>	<p>町長 住民課</p> <p>自治安心課</p>

			<p>①やさしい日本語や多言語に対応した防災情報マップやハザードマップの作成・配布予定はあるか</p> <p>②災害時に多言語での情報発信を行うための、外部機関（国際交流協会など）との連携やA I 翻訳などの技術活用を検討しているか</p> <p>③災害発生時に、日本語の情報をリアルタイムに翻訳し一斉送信できる体制はあるか。職員による手動翻訳に頼る体制では間に合わないのでは</p> <p>④外国人住民向けの防災訓練や防災講座の実施についてどのように考えているか</p> <p>3) 土嚢の備蓄量・設置箇所・利用方法の周知状況について</p> <p>①必要な時に土嚢が不足したり、住民が取りに行けなかったりする事例はないか</p> <p>②高齢者や障がい者、単身世帯など、自力で土嚢を運べない人への支援は具体的にどう行っているか</p> <p>③一袋10キロある土嚢は高齢者や女性には扱いにくい。軽量で吸水性に優れた土嚢や簡易止水板など新しい資材の導入を検討してはどうか</p> <p>④土嚢の積み方や効果的な設置方法を学ぶ防災講座や訓練を検討しては</p> <p>⑤災害時、実際に土嚢がどの程度使われたのか、検証や記録は取っているのか</p>	
7	池上 義典	1 安全・安心対策について	<p>1) 竹間沢・大井・勝瀬通り線は</p> <p>①唐沢小学校まで工事完了されれば、国道463号から特別養護老人ホームまでの計画がされているが、完成予定は</p> <p>②竹間沢・大井・勝瀬通り線を国道463号から特別養護老人ホームまでの計画ではなく、みずほ台駅西通り線まで延ばしてはと思うか如何か</p> <p>2) 一時停止の道路標示による安全対策を</p> <p>①町内交差点での一時停止の道路標示「止まれ」が消えている箇所が多く危険だが、町では、認識しているか</p> <p>②止まれの道路標示が消えている交差点</p>	<p>町長 都市計画課</p> <p>道路交通課</p>

		2 特定外来生物対策について	<p>で事故も起きているが、速やかに表示すべきと思うが考えは</p> <p>3) こぶしの里に安全・安心を</p> <p>①こぶしの里を町は、今後どのようにしたい考えなのか</p> <p>②なら枯れの木が数本あるが、早く伐採し安全を確保したらと考えるがどうか</p> <p>1) アライグマ等による農作物被害や生活環境被害を防ぐ手立てを</p> <p>①アライグマ等による農作物被害が年々増加していると思われるか被害件数は</p> <p>②家屋などに住みつき家屋被害はあるか。</p> <p>③捕獲数も増加していると思われるか捕獲数は</p> <p>④捕獲されたアライグマ等は、町で引き取りどのように処理しているのか</p> <p>⑤アライグマ捕獲等従事者は町に何人登録されているか</p> <p>⑥捕獲をするのに箱わなが必要だが、町ではこの箱わなを貸し出し職員が設置している。多くの住民が貸出依頼をしていると思うが、対処できているのか</p> <p>⑦農作物被害者は、箱わなにより捕獲をしたいが、原則として、わな猟免許所持者が実施するとある。ただし、小型の箱わなを使用する場合は、非所持者であっても従事者とすることができるかとあるが、職員は免許を取得しているのか</p> <p>⑧アライグマ捕獲等従事者の養成を開催したらと思うが考えはあるか</p>	<p>都市計画課</p> <p>町長 環境課</p>
8	吉村美津子	1 食品添加物とプラスチック製品の健康に対する影響について	<p>1) 学校給食センター、保育所、学童保育室の給食等に含まれる食品添加物について</p> <p>①調味料等に含まれる食品添加物名は</p> <p>②加工食品に含まれる食品添加物名は</p> <p>③発がん性の疑いのある添加物をどう捉えているか</p> <p>④健康に対して、影響を及ぼす食品添加物をどのように捉えているか</p> <p>⑤オーガニック給食等の考え方は</p> <p>⑥学校給食の食事時間をもっと多く設け</p>	<p>町長 教育長</p> <p>給食センター ・こども支援課</p> <p>学校教育課</p>

		2 上富小学校の 存続について	<p>ては</p> <p>2) 学校や保育所等の公共施設で使用しているプラスチック製品が健康へ与える影響をどのように捉えているか</p> <p>1) 上富地域住民の意見をどのように聞いていくのか</p> <p>2) 上富小学校と三芳小学校の児童の声をどのように聴取したのか</p> <p>3) 町の意向よりも、なぜ、先に児童の声を聴かなかったのか</p> <p>4) パブリックコメントの内容は</p> <p>5) スクールバスの導入は</p> <p>6) (仮称) 地域活性化発信交流拠点事業(道の駅) 建設計画は止めるべきでは</p> <p>7) 児童、保護者、地域住民の多くは、上富小学校の存続を願っている。結論を急がずに存続対策を検討すべきでは</p>	<p>学校教育課・ こども支援課</p> <p>町長 教育長 学校教育課</p> <p>総合調整幹 学校教育課</p>
9	小松 伸介	1 公共交通施策 について	<p>1) 三芳町地域公共交通計画について</p> <p>①既存路線バスを利用しない人がアンケート全体の6割と多いが担当課の見解は</p> <p>②P43に「既存路線の維持確保に向けて町の支援制度を見直す」とあるがどのような内容か</p> <p>③バスが利用しやすくなるための必要な要素(本数の増加や運行時間帯の拡大、運賃の値下げ等)の対応は</p> <p>④バス停で快適に待つ事が出来る待合環境整備は</p> <p>⑤今後の公共交通について重要だと思う要素について、クリアできる項目及び出来ない項目の見込みは</p> <p>⑥通勤も通学も所沢市・ふじみ野市への移動が多いが隣接市へのアクセス向上策は</p> <p>⑦P44に高速バスについて記載があるが接続連携に向けてどのように進めていくのか</p> <p>⑧事業者送迎サービス等の連携検討をどう進めるか</p> <p>2) 循環ワゴンについて</p>	政策推進室

		<p>2 道路行政について</p>	<p>①既存バス利用者が少ない状況の中、循環ワゴンを選択した理由は</p> <p>②既存バスと比較して利用者増は見込めるのか</p> <p>③全路線及び行政連絡区毎における既存バス路線との重複率は</p> <p>④運行本数の増や運行時間帯、既存バス路線と重複しない等、利用しやすい環境整備が必要と考えるがどうか</p> <p>⑤デマンド交通と循環ワゴンの年間事業費は</p> <p>⑥デマンド交通は利用者の偏り等の理由で廃止となったが、本事業は持続可能な公共交通と成り得るか</p> <p>⑦停留所の見直しはどのように行っていくか</p> <p>⑧第一中継ポンプ場付近へ停留所設置が検討出来ないか</p> <p>⑨高校生等への利用料金減免を検討しては</p> <p>1) 国道254号と幹線16号線交差点の現状について</p> <p>①危険性について町民からの声は</p> <p>②過去10年間で発生した事故等の状況は</p> <p>③それらの発生要因をどう捉えているか</p> <p>④どんな対策を講じれば事故を回避できたか</p> <p>⑤これまで行われてきた安全対策は</p> <p>2) 国道254号と幹線16号線交差点の信号機設置について</p> <p>①設置に対する住民からの声はあるか</p> <p>②これまで信号機設置に向けてどのような協議が行われてきたか</p> <p>③信号機設置に至らなかった要因は</p> <p>④どのような条件を満たせば信号機が設置出来るのか</p> <p>⑤再度、設置に向けた協議を検討しては</p> <p>3) 町内全域における信号機設置について</p> <p>①全要望箇所数は</p> <p>②過去10年間で町内への信号機設置数</p>	<p>町長</p> <p>道路交通課</p> <p>町長</p>
--	--	-------------------	--	----------------------------------

			<p>は</p> <p>③当町に設置が進まない要因は</p> <p>④埼玉県警察に対しどのような要望活動を行っているか</p> <p>⑤今後設置が予定されている箇所はあるか</p> <p>4) その他の安全対策について</p> <p>①道路標示等が消えている箇所が散見されるか対応状況は</p> <p>②予算の拡充に対する考えは</p> <p>③以前提案した手かざしで発光する看板設置の検討は</p>	町長
10	林 善美	<p>1 子どもの性被害について</p> <p>2 上富小学校の活用について</p>	<p>1) 令和6年9月の一般質問以降、小中学校で性被害の事例はあったか</p> <p>2) 全国的にも教職員の性加害が問題となっている。教職員への調査は行われたか</p> <p>3) 調査結果は</p> <p>4) 調査は定期的に行われているか</p> <p>5) どのような研修が行われているか</p> <p>6) より徹底した研修が必要と考える。研修内容の見直しは検討されているか</p> <p>1) 子どもの居場所について</p> <p>①子どもの居場所の現状は</p> <p>②現在行われているプレーパークは開催日時や内容など、今後どのような展開が考えられるか</p> <p>③子どもが自由に遊びに来られる常設のプレーパークを検討してはどうか</p> <p>2) 地域活性化発信交流拠点における上富小学校の活用について</p> <p>①上富小学校の活用についての想いは</p> <p>②進捗状況について</p> <p>③分担型整備案について</p> <p>ア メリット</p> <p>イ デメリット</p> <p>④上富地域拠点としての活用以外は検討されているか</p> <p>⑤活用方法の決定はいつ頃を予定しているか</p> <p>⑥レガシーとして残すべきと考えるもの</p>	<p>学校教育課</p> <p>教育長</p> <p>こども支援課</p> <p>町長 総合調整幹</p> <p>教育長</p>

			<p>はあるか</p> <p>3) 長野市「ササランド」や川崎市「夢パーク」を参考に上富小学校を子どもの居場所の拠点として活用してはどうか</p>	<p>学校教育課 町長 こども支援課</p>
1 1	久保 健二	<p>1 藤久保地域拠点整備等事業の問題点について</p> <p>2 (仮称) 地域活性化発信交流拠点及び学校編成について</p>	<p>1) 藤久保地域拠点整備等事業について</p> <p>①総追加予算内訳、詳細について</p> <p>ア 建設費</p> <p>イ 産業廃棄物処理費用</p> <p>ウ VE対象になった変更箇所及び減額となった金額は</p> <p>エ VEにより手法を変更したことで耐用年数や強度等の影響は</p> <p>②コンサルタントの主な業務は (実績等)</p> <p>③地元業者の参加状況は</p> <p>④SPCの事務所所在地について</p> <p>ア 地目的に事務所所在地にして問題ないのか</p> <p>イ 土地の使用料 (賃料) は</p> <p>1) 地域発信拠点施設と町内学校編成、上富小学校廃校について</p> <p>①上富小学校廃校に対する考えは</p> <p>②児童生徒、保護者、地域の声は</p> <p>③廃校にする理由が別なところにあるようにも取れるが見解は</p> <p>④学校の立地 (地割、世界農業遺産等) を考えても残すべき学校と考えるが、廃校することに決定した経緯、理由は</p> <p>⑤全国的に少人数学校というのは多く存在する。子供たちには選択制等を設け存続させては</p> <p>⑥通学問題等、課題があると思うが廃校、統廃合に対しての協議内容は</p> <p>2) 地域活性化発信交流拠点について</p> <p>①2案、分担案が主になり建設費の減額を強調して進めようとしているようだが、藤久保地域拠点での予測のつかない総建築費や運営費 (人件費等) また本事業でも同様と考えると現段階で進める事業ではないと考えるか町の考えは</p> <p>②廃校問題同様に地域の声を第1に計画を進めるべきと考えるが見解は</p>	<p>町長 施設マネジメント課</p> <p>町長 教育長 学校教育課</p> <p>総合調整幹</p>

			<p>③いも街道として個人直売所が立ち並んでいるが支障、影響はないのか</p> <p>④上富小学校を廃校にした後、活用プランは</p> <p>⑤町の出資を抑えるためNEXCO東日本の協力を仰ぎ、下り線SAを拡張、活用する計画に切り替えては</p>	
12	本名 洋	<p>1 ライフバスの今後について</p> <p>2 外国人との共生社会構築について</p> <p>3 世界農業遺産とアグロエコロジーについて</p>	<p>1) ライフバス7番線休止の代替策の進展は</p> <p>2) 7番線はいつまで休止なのか</p> <p>3) 三芳町地域公共交通計画について</p> <p>①ライフバス再編の方向性は</p> <p>②「新規公共交通サービスの導入」とはどのようなものを想定しているのか</p> <p>1) 国際交流、共生社会を推進する町として、参議院議員通常選挙での外国人差別を助長する主張をどう考えるか</p> <p>2) 住民登録している外国籍の人は何人いるか</p> <p>3) 生活保護を受けている町民は何人か</p> <p>4) そのうち外国籍の人は何人か</p> <p>5) 外国人の医療費の割合は</p> <p>6) 外国人の相談窓口について</p> <p>①外国人が困った時に寄り添える体制になっているか</p> <p>②課題は無いか</p> <p>7) 地域における国際交流事業を推進することが必要では</p> <p>1) 日本農業遺産、世界農業遺産の町としての農業政策について</p> <p>①将来に向け農地を守っていく必要があるのでは</p> <p>②持続可能な農法を進める必要性は</p> <p>③オーガニックビレッジ宣言をしてはどうか</p> <p>④アグロエコロジーへの転換を進めては</p> <p>⑤農業支援策の強化が必要では</p> <p>2) 新規就農や「農ある生活」で移住者を呼び込むことを考えては</p> <p>3) 日本農業遺産、世界農業遺産の町としての教育政策について</p>	<p>町長 政策推進室</p> <p>町長 総務課</p> <p>住民課</p> <p>福祉課</p> <p>住民課 総務課</p> <p>社会教育課</p> <p>町長 観光産業課</p>

			<p>①地域の核となる上富小学校を小規模特認校として残しては</p> <p>②地元の有機野菜を学校給食に取り入れては</p>	<p>学校教育課</p> <p>給食センター</p>
13	増田 磨美	<p>1 第9期三芳町介護保険事業計画の中間点における状況把握について</p> <p>2 藤久保地域拠点施設整備等事業について</p>	<p>1) 地域包括支援センターに寄せられた相談内容は</p> <p>2) 地域密着型介護サービス施設について</p> <p>①地域密着型介護サービス施設から報告のあった令和5年、令和6年の事故報告の件数は</p> <p>②地域密着型介護サービス施設から報告のあった令和5年、令和6年の事故報告の内容は</p> <p>③報告に対しての町の対応は</p> <p>④虐待、もしくは虐待と思われる件数は</p> <p>⑤報告を受けてからどのような対応をしているか</p> <p>⑥予防対策は</p> <p>⑦グループホームの運営推進会議ではどんなことを確認しているのか</p> <p>⑧グループホーム施設長間の連携はあるか</p> <p>⑨BCPにおいて地域住民との連携は十分か</p> <p>3) 町全体のケアマネジャーの令和5年、令和6年における人数の推移は</p> <p>4) ケアマネジャーは、施設見学等を行っているか</p> <p>5) スキルアップのために今後、力を入れていきたいことは</p> <p>6) 問題となっている2025年となったわけだが高齢者人口は町で考えた推計と比べてどうか</p> <p>7) 高齢者が自分らしい生活を地域で続けるために第10期三芳町介護保険事業計画策定に向けて注視していくものは何か</p> <p>1) 現在までの進捗状況は</p> <p>2) 変更になった点、箇所はあるか</p> <p>3) 藤久保小学校の学童保育室の夏休み中の平均出席人数は</p>	<p>町長</p> <p>健康増進課</p> <p>町長</p> <p>施設マネジメント課</p> <p>こども支援課</p>

		3 今、町民が望んでいることについて	<p>4) 藤久保小学校の学童保育室支援員は足りているか</p> <p>5) 体育館での遊びや代替地などの利用は</p> <p>6) 子どもたちがストレスを感じない工夫は</p> <p>7) 植栽についての計画は</p> <p>1) 就学援助対象中学生への制服費の補助は今、必要なことでは</p> <p>2) 修学旅行や課外授業などの費用は保護者立替払いでなく前支給が必要では</p> <p>3) 後期高齢者へ夏・冬時期のタクシー券補助は急務と思うがどうか</p> <p>4) 三芳町職員募集のポスターに障がい者の記載がないのはなぜか</p> <p>5) 災害時の来庁者の対応について</p> <p>①2階以上に来庁者があった場合、どのように避難するのか</p> <p>②歩行困難者や目や耳に障がいのある人を誰がどのようにフォローするのか</p> <p>6) 町民の声に耳を傾け、今こそ町独自の施策をじっくり考えるべきでは</p>	<p>施設マネジメント課</p> <p>町長 学校教育課</p> <p>福祉課</p> <p>総務課</p> <p>施設マネジメント課</p> <p>町長</p>
14	光下 重之	1 行政サービス向上について	<p>1) 町として戸建住宅の無料簡易耐震診断の実施について</p> <p>①実施町村の状況は</p> <p>②町の現状は、県の「川越建築安全センター」依存か</p> <p>③町は有資格者を活かしているか</p> <p>④一級建築士、二級建築士資格職員を活かして正式に簡易耐震診断の実施、出前講座など行ってはどうか</p> <p>2) 建築物耐震診断・耐震改修・建替え・簡易耐震改修助成制度の充実について</p> <p>①利用件数が少ない理由をどう考えるか</p> <p>②他市との比較で補助限度額に差があるのは</p> <p>③建設資材・人件費高騰などに合わせ、限度額を引き上げることが求められているのでは</p> <p>3) 限定特定行政庁への昇格について</p> <p>①建築主事の資格者がいないから建築基準法第97条の2を考えたことはない</p>	<p>町長 都市計画課</p>

		<p>2 農業政策の充実と道の駅について</p>	<p>のか</p> <p>②実施自治体の現状はどうなっているか (埼玉県では昭和58年から旧大井町、杉戸町、松伏町など)</p> <p>③三芳町で実施すると、どんな事務が単独でできるようになるか</p> <p>④中心となる建築確認業務で速やかな処理をするなど住民サービス向上を図ることができるのでは</p> <p>⑤建築主事の資格取得が求められるのでは</p> <p>⑥限定特定行政庁であることが災害時に住民に直接に役立つ役所になるのでは</p> <p>⑦このような施策が町の格を高めるのでは</p> <p>1) 三芳町農業の特徴・実力は(農業統計から)</p> <p>2) 三芳町農業補助・政策の変遷は</p> <p>3) 若手農業者を激励・支援する政策は</p> <p>4) 道の駅(仮称「地域活性化発信交流拠点」)に関する地元などの声について</p> <p>①地元農業者団体に丁寧な説明は行われているのか</p> <p>②地元農業者に歓迎されているのか</p> <p>③各種農業者団体とは合意できているのか</p> <p>④同種の施設、スーパーなど農産物販売は飽和状態だという声があるがどう思うか</p> <p>⑤自家販売で売り切る「三芳町川越いも振興会」があるなかで、地元名産のさつまいもは供給されるのか</p> <p>⑥関越自動車道下り線側の施設であり、上り線と隔絶されているので客足はどうしても少なく、農産物販売はうまくいかないのでは、という声にどう答えるか</p> <p>5) 町のイメージダウン、ダウンサイジングにつながる学校廃校の計画の一方で、それを組み込んだ道の駅という大規模計画に乗り出すのは、スクラップ&amp;ビルドを想起させる最悪のやり方ではないか</p>	<p>町長 観光産業課</p> <p>総合調整幹</p>
--	--	--------------------------	--	----------------------------------

			6) 急ぐのではなく、サイレントマジョリティの声を丁寧に聞いたうえで結論を出すことが肝要ではないか	
--	--	--	---	--